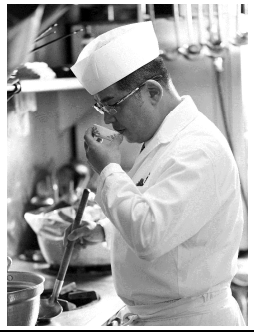
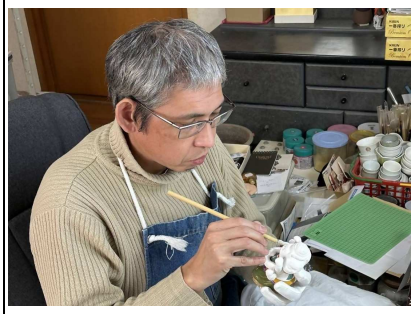
令和8年度　福岡県優秀技能者被表彰者名簿

※年齢は令和8年11月13日現在

番号	職種	ふりがな 氏名（年齢） 所属事業所・団体	技能の概要	写　真
1	鋳物工	これなが　のりよし 是永　規好　（55） トヨタ自動車九州株式会社	入社以来16年間、エンジン生産に従事し、設備保全、生産製造準備、型保全、および製造など幅広い業務を通じ、多岐にわたる知識・技能の習得に努め、生産性向上および品質向上に貢献するとともにその活動を通じた人財育成に取り組んできた。現在は車載電池のものづくりに携わり、製造準備業務においてロス低減活動を推進することで、安心・安全な生産体制の構築に取り組んでいる。またオールトヨタの一員として車載電池生産を担う次世代人財の育成を推進している。	
2	工作機械設計	ひろせ　ただお 廣瀬　忠男　（48） 株式会社三井ハイテック	研削盤、特殊機、自動機、および専用プレス機械の開発設計に長年従事し、高精度加工技術と自動化技術を融合した工作機械開発に卓越した技能を有する。顧客要求に応じて剛性、振動、熱変位、および位置決め精度を高次元で両立し、サブミクロンレベルの加工精度と安定した加工品質を実現している。高精度スライサーの開発や研削盤への技術展開、ロボット搬送や機上計測を活用した自動化により製造現場の課題解決に貢献。また、複数の特許取得を通じて工作機械の高精度化と差別化技術の発展を支えている。	
3	アーク溶接工	むらやま　けんたろう 村山　健太郎　（48） 山九プラントテクノ株式会社	石油化学プラントをはじめとする各種配管工事において、長年にわたり溶接工として従事し、高度な溶接技能を発揮してきた。また、その優れた技術力と指導力が評価され、2020年3月より、能力開発センターの指導員として新入社員の技能教育を担当し多くの技能者の育成に尽力している。個々の社員が持つ溶接の癖や技術的な課題を的確に見極め、それぞれに最適な指導方法を取り入れることで、技能の向上と人材育成に大きく貢献している。その高い指導力は社外からも高く評価され、他社から溶接競技会出場選手の育成・指導を依頼されるなど、豊富な経験と実績を活かした人材育成を実践している。	
4	生産設備保全工	なかむら　しゅうご 中村　周吾　（53） トヨタ自動車九州株式会社	自動車生産設備の設備関係業務に33年間従事。　生産設備の設置、保守、保全、改善および新規導入など幅広い業務を担い、生産性向上に大きく貢献してきた。設備導入時には「生まれの良い設備づくり」を信念に、故障の発生を未然に防ぐ視点で設備仕様を構築し、安定した生産体制の実現に寄与した。予知・予防保全を徹底し、長年にわたり設備故障低減活動を推進することで、安全性、品質および生産性の向上に大きく貢献している。さらに、後進育成にも積極的に取り組み、若手技能者への技術伝承や次世代リーダーの育成を推進している。	
5	生産設備保全工	ありみつ　つよし 有光　剛　（55） 日産自動車九州株式会社	長年にわたり設備保全業務に従事し、溶接ロボットや搬送設備、成形設備の保全において卓越した技能を発揮。仕上げ1級の技能を活かした高精度な据付・調整により設備信頼性向上と安定生産に大きく貢献した。東日本大震災や工場火災復旧支援では設備の早期復旧を牽引するとともに、設備診断技術を活用した予知保全や再発防止の仕組みを構築。さらに国内外工場への技術支援や後進への技能伝承、人財育成を積極的に推進し、職場全体の技能水準向上に顕著な成果を上げている。	

番号	職種	氏名（年齢） 所属事業所・団体	技能の概要	写　真
6	発電員	田中（たなか）　秀昭（ひであき）　（51） 九州電力株式会社	入社以来、34年間の長きに亘り、電気事業の第一線で発電業務に従事し、電力の安定供給に貢献してきた。この間、様々な経験で培った確かな技術力を保有するだけでなく、人材育成において優れた能力を発揮し、物心両面で発電業務の技術力維持・向上に尽力している。	
7	建築大工	丸林（まるばやし）　良隆（よしたか）　（51） 丸林想建	一般住宅は元より、数寄屋建築や社寺、古民家住宅の修繕工事等を手掛け、木を知り尽くし木の特性を生かした伝統和風建築の技術を守っている。丸太作りの建物を得意とし、磨き丸太の墨付、加工に加え、光付けと言われるいびつな形や、凹凸のある二つの部材等を隙間なく接合する熟練した精度の高い木組みの技術を有する。また、厚生労働省ものづくりマイスターとして若年技能者の技術向上の為、人材育成に貢献している。	
8	建築とび工	川元（かわもと）　末広（すえひろ）　（54） 尾園建設株式会社	入社以来、36年にわたりとび工として第一線で活躍している。仮設工事、土工事、コンクリート工事など幅広い施工に携わり、豊富な経験と卓越した技能を培ってきた。仕事には一切の妥協を許さず、見えない部分にまで細心の注意を払い、常に安全で最適な施工を追求する姿勢を貫いている。確かな技能と強い責任感、誠実な人柄を兼ね備え、元請会社や協力会社からも厚い信頼を寄せられている。長年にわたりとび技能検定の検定委員を務め、後進の育成に大きく貢献している。	
9	左官	青山（あおやま）　高久（たかひさ）　（62） 藤井工業株式会社	住宅をはじめ、マンション、公共施設など幅広い建築物の左官工事に携わり、下地作りから仕上げまで高い施工技術を有する。特にマンションの左官仕上げや下地塗り工法については、新建材の特性や施工方法を研究・検証し、品質向上と施工精度の向上に努めてきた。現場の安全対策に努め優秀職長として表彰を受けた他、左官技能インストラクター、技能競技大会実行副委員長、技能検定委員として後進指導育成に大きく貢献している。これまでの功績が多くの組合員に評価され令和6年に福岡市左官業組合代表理事に就任し現在2期目を迎える。	
10	造園師	佐々木（ささき）　昭雄（あきお）　（68） 有限会社佐々木造園	造園の道に入り50年、長年にわたり技能・技術の研鑽に努め、文化財庭園の保存技術を体得してきた。地震や豪雨などの自然災害が相次ぐ中、被災した日本庭園や文化財等の修復に尽力し、培ってきた高度な技術を遺憾なく発揮している。 戸山原古墳の石室や彦山川河川敷を高度な石積み・巨石張り技法で復旧し、国指定名勝英彦山旧亀石坊庭園の泉水や藤江氏魚楽園など、災害によって被災した日本庭園についても、庭園本来の姿を的確に見極め、池泉鑑賞式庭園として見事に復元するなど、その卓越した技能と豊富な経験を活かした技術力を発揮している。	

番号	職種	氏名（年齢） 所属事業所・団体	技能の概要	写　真
11	ゴム製品成形工	古賀（こが）　純一朗（じゅんいちろう）　（53） 株式会社ムーンスター	ゴム部品の生産に関する豊富な経験に裏打ちされた確かな技能を活かし、無駄のない効率的な生産体制を確立し、維持するとともに、後進の指導や育成を通じて品質基準の厳しい国内生産を第一線で支えている。また、ライン長・工程責任者として、優れたリーダーシップと実行力を発揮し、現場で発生する様々な課題に迅速に対処しながら、現場改善を実現している。	
12	木製建具製造工	村本（むらもと）　裕作（ゆうさく）　（50） 有限会社村本建具製作所	高校卒業後、建具製作一筋に従事してきた。組子細工を、建具だけではなく、コースターや小物にいち早く取り入れ、日本の伝統技術を広く、一般に周知した。20年程前から、組子をより繊細に組み、独自のアイデアやデザインにてオリジナルの作品を多数制作しており、鉄鋼や工場のイメージが強い北九州で新しい組子細工のブランドである「小倉組子」を立ち上げた。	
13	オフセット印刷作業員	渡邉（わたなべ）　健太（けんた）　（49） 福岡印刷株式会社	長年にわたりオフセット印刷に携わり、印刷物の細部や色を正確に再現する網点再現、見当合わせに加え、インキ濃度等に卓越した技能を有し、高品質な印刷物の安定生産に貢献している。豊富な経験に基づく優れた判断力に加え、電気に関する専門知識を活かし、印刷機のトラブルにも自ら対応し、修理・保守まで一貫して行うことで、生産設備の安定稼働を支えている。また、長年培った高度な印刷技能を後進に伝え、1級及び2級オフセット印刷技能士を育成するなど、業界の技能継承と若手技術者の育成に大きく貢献している。	
14	洋生菓子製造工	犬丸（いぬまる）　龍介（りゅうすけ）　（58） 株式会社萬平浪漫	培ってきた経験を活かしながら、科学的根拠を基に、原材料の特性を最大限に引き出し、味覚・食感・外観において高水準な製品を安定かつ継続的に製造している。また、安心安全なお菓子作りを心掛け、洋菓子を中心とした創作菓子の開発にも積極的に取り組んでいる。	
15	美容師	築地原（ついちはら）　恭子（きょうこ）　（69） エル美容室	美容に関する卓越した技能を生かし、美容業界の発展及び組合活動に尽力している。特にメイク、着付、およびブライダル分野に優れ、全日本美容技術選手権大会ブライダル競技の部で優勝するなど、全国屈指の技術力を有する。また、全日本美容講師会着付最高師範と日本着付学術会日本十傑（五段名人）の称号を持つ傍ら、後進の育成にも積極的に取り組み、美容師の技術向上と美容業界の発展に多大な貢献を果たしている。	

番号	職種	ふりがな 氏名（年齢） 所属事業所・団体	技能の概要	写　真
16	日本料理調理人	とくなが　ひでと 徳永　日出登　（54） 日本料理古仙	日本料理調理師として永年にわたり研鑽を重ね、河豚の飛翔盛をはじめ卓越した包丁技術に加え、出汁を深く理解し、江戸時代から伝わる「水塩」を使用し素材の旨味や香りを引き出す技術を有している。技能グランプリ全国大会2位（銀賞）をはじめ幾度にわたり多くの技術大会に参加し優秀な成績を納めている。専門学校非常勤講師をはじめ後進の育成にも高い技術指導力を発揮するとともに、所属団体を通じて食育活動を企画運営し、親子参加食育体験を通して子供たちに「命をいただく」大切さを教えている。	
17	すし職人	わたなべ　たかよし 渡辺　貴義　（49） 有限会社照寿司	創業60年を超える「照寿司」の三代目として、伝統的な技法を深く習得しつつ、地元・北九州および九州近海の豊かな食材を最大限に活かす独自の技能を確立している。特に、玄界灘や響灘で獲れる大型の天然魚（クエ、アワビ、サワラ等）の目利きと、その旨味を極限まで引き出すための「熟成」や「温度管理」、そして大胆な包丁捌きには卓越したものがある。また、単なる調理技術に留まらず、一貫の寿司を最高の状態で提供するための視覚的な演出や、客とのコミュニケーションを一体化させた「劇場型」の供食技能は、従来の寿司職人の概念を覆す独創的なものであり、国内外の専門家・美食家から高く評価されている。	
18	人形製造工	みついし　たかし 光石　貴　（50） 光石博多人形工房	師匠である宗田源造氏より受け継いだ漆を使った金箔貼りの技法を得意とし、彩色における着物や金属の質感を表現する手法として役立っている。自身のアイデアでデフォルメされた達磨人形や、鳥や猫をあしらった人形などユニークな作風を大事にしている。平成16年博多人形与一賞展において「特選」を受賞以来平成31年、令和5年、令和6年の新作博多人形展で入賞。令和2年2月伝統工芸士認定されるなど、その技術は高く評価されている。	
19	フラワーデザイナー	のぐち　しずか 野口　静香　（64） 花ののぐち	入職以来、40年以上にわたりフラワーデザイン及びフラワー装飾の技能研鑽に励み、卓越した技術と豊かな表現力を培ってきた。平成2年には九州花卉選手権において内閣総理大臣賞を受賞、平成8年にはフラワーデザインコンテスト全国大会で優勝するなど、数々の輝かしい実績を有する。また、西日本短期大学の非常勤講師や技能検定委員として長年にわたり後進の指導育成に尽力するとともに、花文化の普及と地域花き産業の発展に大きく貢献している。	